



NEWS

中央区東部地域

南北交通ニュース

発行：中央区東部の南北交通を考える会

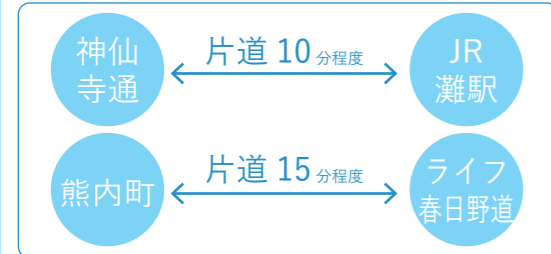
05

アンケート結果を踏まえた運行計画検討の考え方

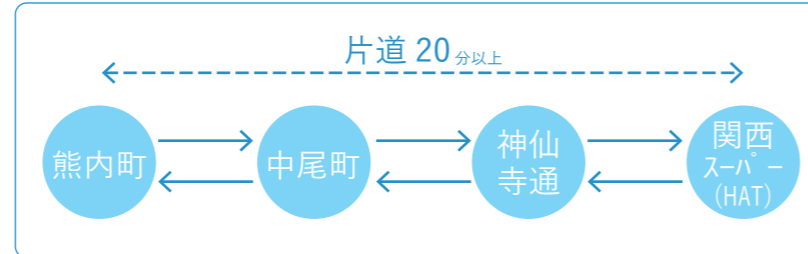
■ 地域の皆さんが希望するバスの運行条件

移動の目的 買い物 出発の時間 ~ 15時 帰宅の時間 12~21時 乗車時間 15分以内 運行間隔 20分間隔以内 利用運賃 200円以内

■ 運行条件を満たす (例)



■ 運行条件を満たさない (例)



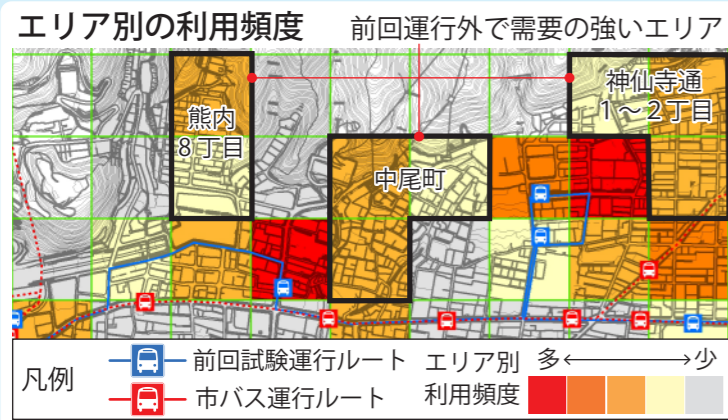
■ 関西スーパー (HAT 神戸) への運行について

関西スーパー (HAT 神戸) を希望する方の7割以上が15分以上の所要時間を許容できないと回答しています。これらの希望に応えるには、施設送迎バスのようなノンストップでの運行が必要となり、多くの方が乗り合うコミュニティバスでの実現は難しい。

Table with 2 columns: '条件が満たされた場合の利用頻度' and 'バス停から目的地までの許容所要時間'. It shows percentages and counts for various frequency and time categories.

■ 運行区域の見直し (山麓部のもっと北側の区域へ)

アンケート調査の結果、前回試験運行 (マイクロバス) では運行できなかった区域にも強い利用需要がありました。これらの区域は道幅が狭いところも多いため、より小型の車両 (ワゴン車など) の導入を検討します。



Information about the vehicles used in the trial: '第1回試験運行で使用した車両' (マイクロバス) and '導入を検討する車両 (イメージ)' (ワゴン型車両).

今後の取り組み予定

今後は、アンケート調査の結果を踏まえて、来年春以降の試験運行を目指して、運行計画を見直していきます。



【問い合わせ先】中央区まちづくり課 TEL: 078-232-4411、神戸市都市局公共交通課: 078-595-6721

“区東部の南北交通を考えるアンケート調査” 集計結果のご報告

中央区の東部地域は、急こう配な坂道が多く、日常生活の足となる南北の公共交通が不足していることから、平成28年に当会を立ち上げ、地域の交通課題解決に向けた検討を進めてきました。昨年 (令和元年) 12月には試験運行を実施しましたが、想定していたほど多くの方に利用していただくことが出来ず、コミュニティバスの運行計画を見直す必要があるとの結論に達しました。

そこで、試験運行においてより利用者の多かった地域である『中央区東部の中でも市バス2系統が運行する山麓線よりも北側 (山麓部) にお住まいの方』を中心に、生活交通に関するニーズを把握するために、本年8月~9月にかけてアンケート調査を実施し、多くの方にご回答いただくことができました。ご協力ありがとうございました。

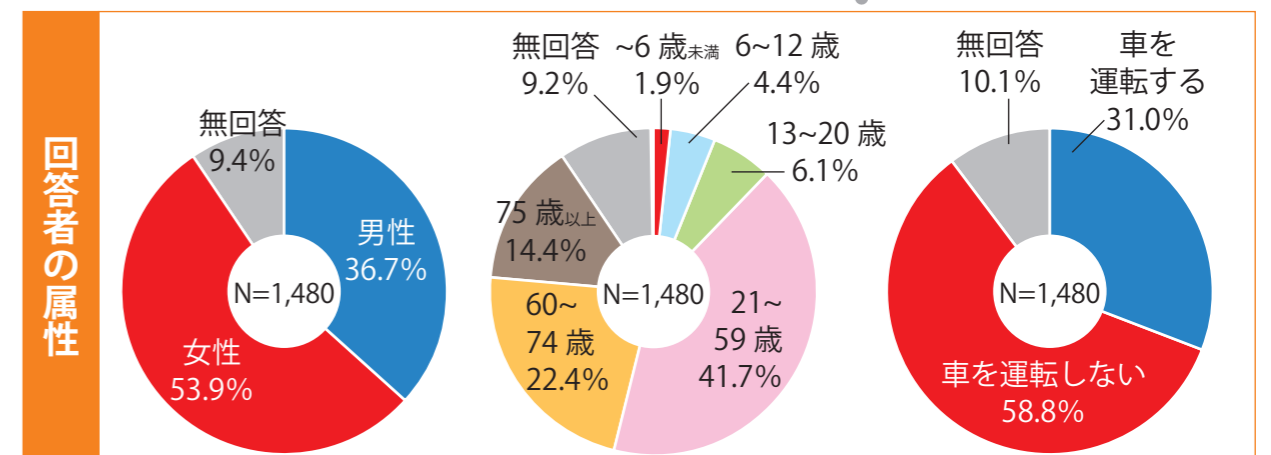
このたび、調査の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。今後、このアンケート調査の結果を活用して、地域として望ましい南北交通バスのあり方を検討し、試験運行、さらには本格運行を目指して取り組みを進めていきます。

アンケート調査の実施概要

アンケート結果の詳細は中面に掲載!!

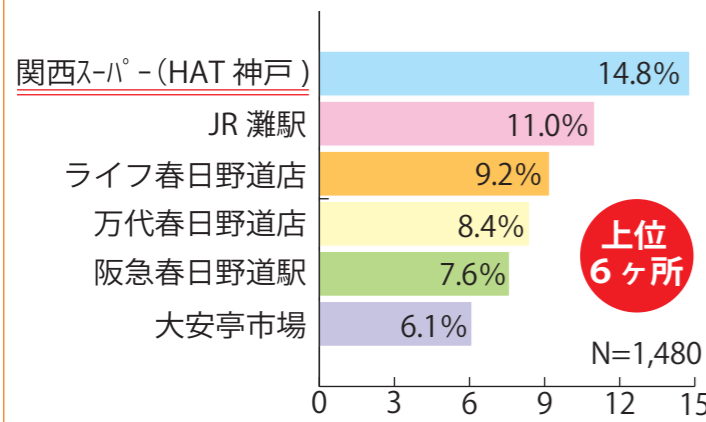
実施期間: 令和2年8月下旬~9月中旬
調査対象: 市バス2系統よりも北側 (山麓部) の居住者
配布数: 3,713票
回収数: 741票 (回収率 20.0%)

有効回答者数: 1,480票



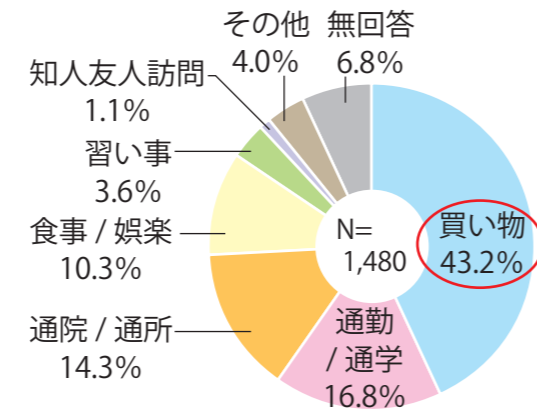
最も重要な目的地

目的地は、**関西入パ - (HAT 神戸)** が最多
 その他に回答が多かった場所は **JR 灘駅、ライフ、万代、阪急春日野道、大安亭市場**



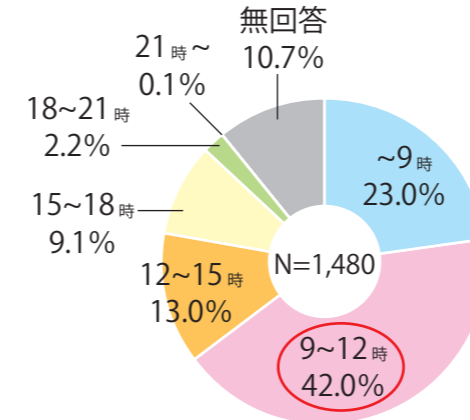
バスを利用して移動する目的

移動の目的は、**買い物** が 4 割強
通勤 / 通学 が 15% 前後



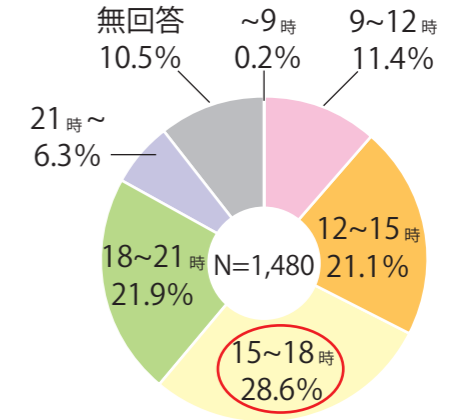
出発の希望利用時間帯

出発の時間は、**9 ~ 12 時** が 4 割強
 ~ 9 時 が 2 割強

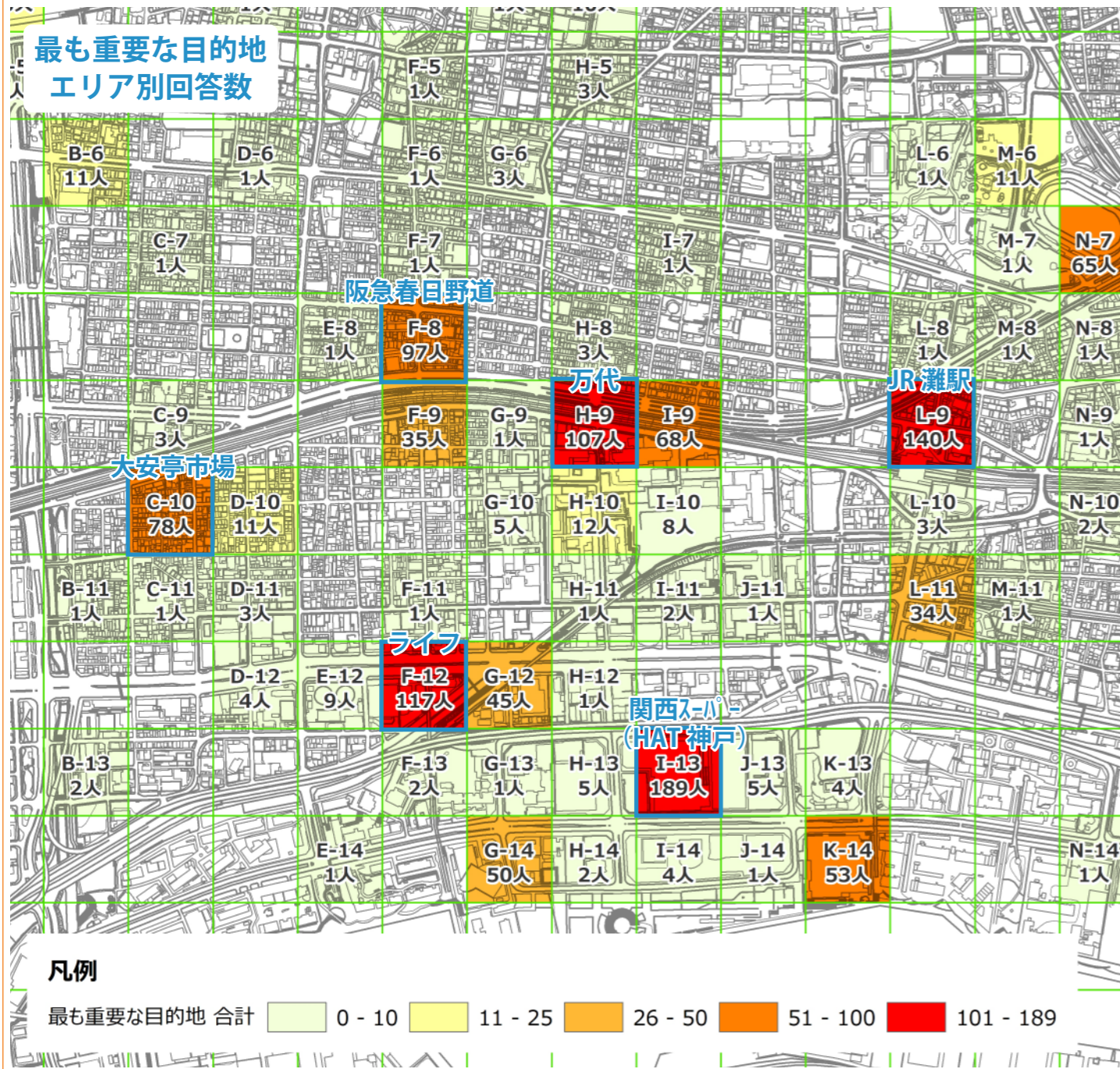


帰宅の希望利用時間帯

帰宅の時間は、**15 ~ 18 時** が 3 割強
12 ~ 15 時 が 2 割強

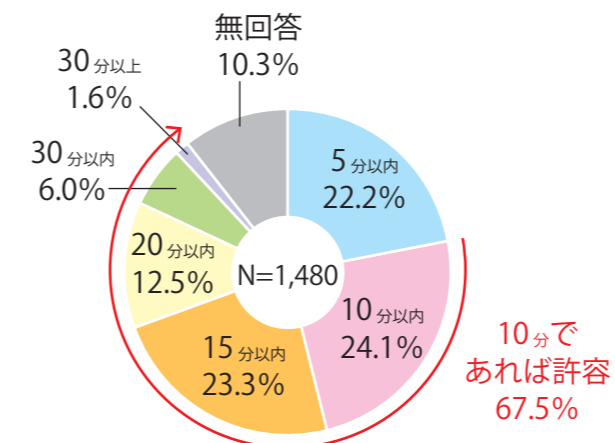


最も重要な目的地 エリア別回答数



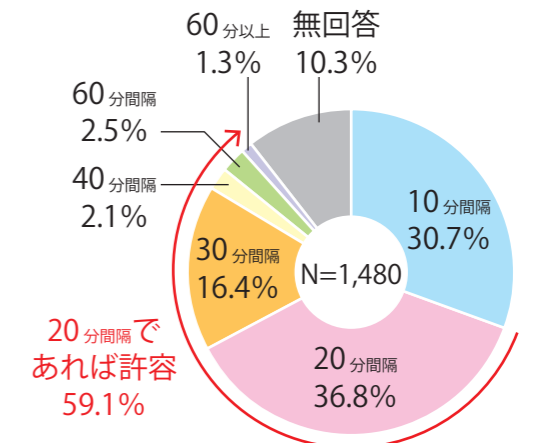
バス停から目的地までの許容所要時間

許容できる乗車時間は、**10 分** であれば許容できるが 7 割弱



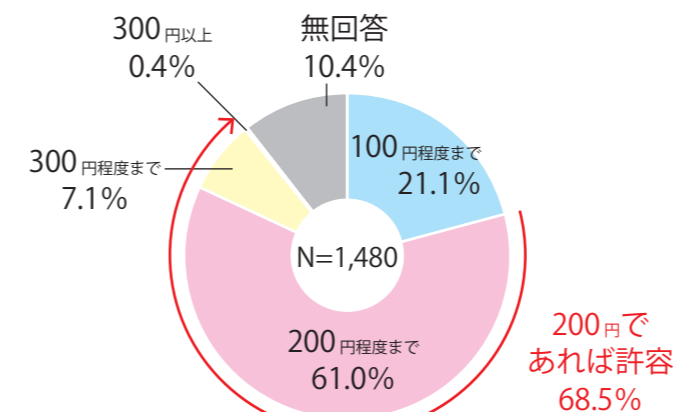
許容できる運行間隔

許容できる運行間隔は、**20 分** であれば許容できるが 6 割弱



許容できる利用運賃

許容できる利用運賃は、**200 円** であれば許容できるが 7 割弱



条件が満たされた場合の利用頻度

条件が満たされた場合の利用頻度は、**週 1 回以上** が 6 割強

